



あくていぶ21 伊藤 健司 議員

- 1 鈴鹿市療育センターについて
(1) 改修・増床後の利用日数や人数、
専門職員配置等の充実について
- 2 産学官連携によるものづくり支援
(1) 行政(官)の役割について

質問1(1) 本市は、就学前の障がい児に対する保育や訓練の質が遅れているが充実させていくのか。

答弁1(1) 面積は4割強増え、利用定員は20名から30名に増やす。保育士は3名増員するが、作業療法士や理学療法士等、訓練を行う専門職員の配置は鈴鹿市として考えていない。充実させる予定はない。また、児童デイサービス事業所として就学後の障がい児対応に

ついても、就学後は学校が役割を担うべきであるので、鈴鹿市としては就学後のデイサービス利用は考えていないし、サービスを提供するつもりはない。

質問2(1) 本市の中小企業の実情や課題に応じたものづくり支援と行政(官)の役割について。

答弁2(1) 産学官連携における行政の役割は、産学連携が促進する環境づくりであり、産業政策課ものづくり支援室では、ものづくり研究開発事業補助、企業ニーズに合致した高等教育機関との連携強化を実施している。今後は産学連携を通じた新事業・新商品創出や雇用創出を図っていくなかで、産学官連携による新商品等のPRを積極的に行っていくためにも企業業態の把握が必要であるので、企業データベースの構築を検討していく。



市政研究会 水谷 進 議員

- 1 市民の安心安全について
(1) 金融詐欺被害撲滅について
- 2 防災について
(1) 災害時での食事供給体制について
- 3 スポーツ施設について

質問1(1) 市内での「振り込め詐欺」の被害状況及び行政としての取り組みについて。

答弁1(1) 1月から6月までの被害件数は13件、被害額は640万円である。消費生活に関する相談窓口として平田町駅前にある「鈴鹿亀山消費生活センター」での相談の他、「出前講座」等を行っている。

質問2(1) 炊き出し拠点や何を供給するのか、また給食センターの役割は何か。

答弁2(1) 市内に※アルファ米など約36,000食を備蓄している。炊き出し拠点は小学校19校と中心的な役割を果たす給食センターである。 ※米飯を炊いた後に乾燥させたもの

質問3(1) 石垣池陸上競技場が全天候型となったが、今後の利用方法は。また、障害者用トイレ等の改修の計画はあるのか。

答弁3(1) 雨の影響という問題点が解消されるので、一般市民への利用拡大や地区の体育祭などにも利用して頂きたい。障害者用トイレなどに付いては、計画的な整備を進めてまいりたい。

質問3(2) 鈴が谷運動公園の利用中止について。

答弁3(2) ボールが外に飛び出す為10月1日から使用を中止。今後アンケート結果も参考にし、利用方法を検討したい。サッカー等は通常通りである。



あくていぶ21 青木 啓文 議員

- 1 行財政運営のあり方について
(1)※プライマリーバランスと債務償還額について
(2) 行財政改革の経緯について
(3) 基本方針別意見書について
- 2 景観づくりについて ※財政の基礎的収支

質問1(1) プライマリーバランスと借入残高から、限られた財源の有効活用を図り、最大限に効率的な行財政運営が必要であると思うが如何か。

答弁1(1) プライマリーバランスは平成19年度一般会計決算で約40億円の黒字で、引き続き、黒字化を目標に財政運営をおこないたい。

質問1(2) 【集中改革プラン】の平成17・18年度実績の進捗状況に関し、意見書の「全体的な意見」について、

取り組みや見解は。

答弁1(2) 各部署と、目標設定の明確化や客観的評価に向けた協議を行い、取り組み経過の説明責任を果たしたい。

質問1(3) 基本方針別意見の4項目。①学校給食調理②公立幼稚園③公立保育所④土地開発公社について市長の考えは。

答弁1(3) 職員が一致団結し、今取り組むべきことを実行し、行財政改革を推進していく。

質問2 石薬師町での交差点改良とまちづくりは。

答弁2 国道と県道との交差点改良について、宿場町にふさわしいものにしようとして地元・県・市が話し合いを重ね、宿場町の景観をどのように形成するのかについても将来的な話し合いが始まりつつある。